

新たな防災情報「土砂災害警戒情報」を発表開始

砂防災課

近年、全国的に集中豪雨が多発し、土石流などにより多くの被害が発生しています。地球温暖化が進めば、さらに増えるといわれています。

大雨が降り続く中で土砂災害の発生を正確に予測することは極めて難しいですが、気象の予測技術や情報通信技術の飛躍的な発展により、実際の雨量と過去の災害情報をもとに土砂災害の危険度を計算し、発表することができるようになりました。

次に平成19年3月から発表開始した土砂災害警戒情報について概要をお知らせします。

1 土砂災害警戒情報って何？

土砂災害警戒情報とは、大雨によって土砂災害が発生する恐れが高まった時に、市町村長が発令する避難指示等の判断の支援や住民の自主避難の参考となるよう、県と盛岡地方気象台が共同で発表する新たな防災情報です。

2 どんなときに発表されるの？

過去に土石流やがけ崩れが多発した雨量に基づき基準を定め、大雨警戒が発表された区域を対象に、今後の予測雨量が基準を超過したときに発表します。発表は市町村単位とし、避難等のために必要な時間を考慮して早めに発表します。

3 発表の伝達ルートは？

発表は、市町村や関係機関・広域振興局等には盛岡地方気象台から、県民の皆様にはテレビ・ラジオから伝達されます。また、補足情報として、県内5km四方ごとの危険度を色分けした参考情報（左図）等を県ホームページで提供しています。（10分更新）

土砂災害警戒情報の発表文(例)

岩手県土砂災害警戒情報 第×号
平成 年 月 日 時 分
岩手県 盛岡地方気象台 共同発表

【警戒対象地域】
釜石市・大船渡市・山田町・大槌町

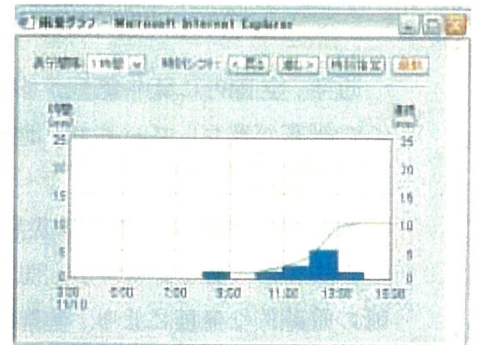
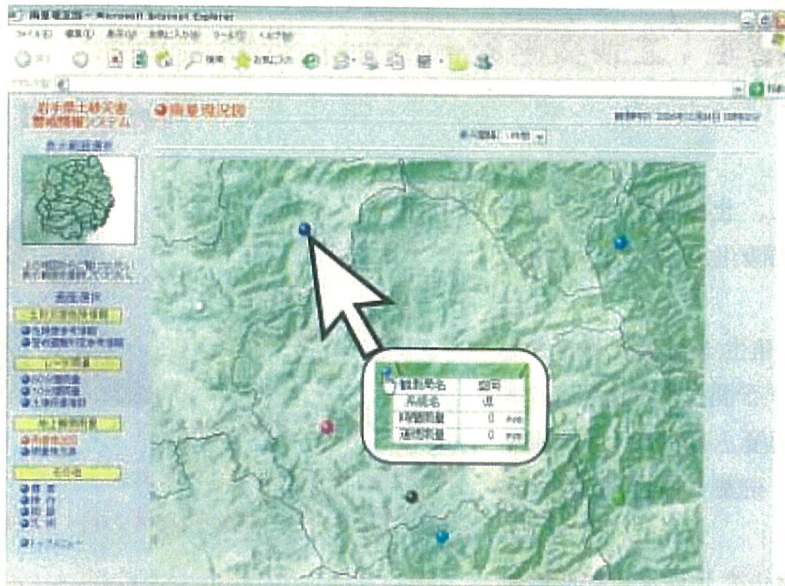
【警戒解除地域】
一関市
*印は新たに対象となった市町村を示します。

【警戒文】
【対象地域拡大】
降り続く大雨のため、土砂災害の危険度が非常に高い状態が続いており、崖崩れには釜石市、大船渡市、山田町、大槌町にも広がる見込みです。土砂災害危険箇所及びその周辺では厳重に警戒してください。

県庁所在地
019-629-1821 (岩手県県土整備部砂防課)
019-622-7868 (盛岡地方気象台砂防課)

クリックすると次ページが表示されます。

<http://sabo.pref.iwate.jp/>



450 日分の時間雨量を表やグラフで見ることができます。

■岩手県のホームページからもアクセスできます！

①

注目情報
→ 防災・災害

<http://www.pref.iwate.jp/>

②

土砂災害警戒情報（補足情報）【砂災害課】

いわて防災情報ポータル

県内の様々な防災情報を把握するための総合サイトとして、**いわて防災情報ポータル**を作成しました。「お気に入り」に登録し、ご活用ください。

4 これからの取組みは？

これまでの土砂災害対策は、えん堤や擁壁の整備などハード対策を中心に進めてきましたが、県内の危険箇所は 14,000 箇所以上あり、全てを整備するには多大な費用と時間が必要です。

そこで、まず、危険箇所については、住民の方たちに自分たちの住まいが危険な箇所にあることを知っていただくことを優先し、土砂災害警戒区域等の指定を進めているところです（平成 19 年 4 月現在で 632 箇所指定済み）。また、危険な区域にお住まいの方に対しては、住宅を移転していただく補助制度として「がけ崩れ危険住宅移転促進事業」も併せて進めています。

土砂災害警戒情報のシステムはまだできたばかりです。“いつ危ないのか、どこが危ないのか、どこに逃げたらいいのか”などがすぐにわかるよう、避難所の位置や指定した土砂災害警戒区域をシステムで見られるようにしていく予定です。

5 何よりも早めの避難を！

防災において、自分の身は自分で守ること（自助）を基本としながら、近隣住民や自治会、自主防災組織などの助け合い（共助）が必要であり、自治体や公的機関などの支援や救助（公助）があり、この 3 助がうまく役割分担し、機能して災害から身を守ることができます。行政の「知らせる努力」をご理解いただき、災害への普段からの備えとして住民の「知る努力」も期待したいと思います。

災害から命を守るには、何よりも早めの避難が大切です。土砂災害警戒情報が出たら、雨の強さや土砂災害の前兆現象などと合わせて、安全な場所に早めの避難をお願いします。

■注意点は？ 地形・地質等の条件が悪いところでは、局所的な豪雨など大雨の降り方によって、土砂災害警戒情報が発表されていなくてもがけ崩れ等が起こることもありますのでご注意ください。